

社会福祉法人 種の会 アルテ子どもと木幼稚園

〒164-0001 中野区中野 1-59-5

Tel 03-3365-0602

ホームページ URL <http://www.tanenokai.jp/>

2022

えんだより



9

ArteKodomotoKi

## お知らせ

- 安全管理の為、10月1日より門の暗証番号を変更いたします。  
新しい番号は9月末日にチャイルドケアウェブのメールにてお知らせ致します。
- 運動会は、10月8日（土）桃園第二小学校体育館で開催予定です。感染状況によっては、対策として2部制やクラス別になる可能性もあります。決まり次第お知らせいたします。  
※運動会への参加は2歳ピコ組からとなります。
- プール遊びは終わりましたが、これからも暑い日には 水遊びやシャワーをします。タオルや着替え等、忘れ物のないようお願いいたします。
- 1階の階段扉の鍵を撤去しました。2階扉の鍵は引き続き施錠するようにご協力をお願い致します。

September 9 2022						
sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
				1 引き取り訓練 0歳児健診	2 運動あそび	3
4	5	6	7 音楽あそび 発育測定	8	9 運動あそび	10
11	12	13	14 音楽あそび 0歳児健診	15	16 運動あそび	17
18	19 敬老の日	20 お話びっくり箱	21 音楽あそび	22	23 秋分の日	24
25	26	27 運動会 全体練習	28 音楽あそび	29 誕生会	30 運動あそび	



## こども園化へ向けて、ステップアップ

園長 山田寿江

今年の夏は、三年ぶりに帰省された方もいたと思います。お祭りや花火大会の復活もありました。ふるさととは故郷のことですが、古里と書くと里山が連想され、稲作の風景が浮かびます。幼い頃、祖父母の家へ向かう車窓の景色は豊かな田園風景でした。日本の原風景でもある里山は、水田や小川、野原や裏山など、人々が暮らし、草花や鳥、昆虫など多様な生きものが共生しています。屋上のブドウの実は、鳥が全て食べてしまいました！命のつながりなのでしょう。数年後たわわに実ると、鳥が食べきってしまうことはなくなるそうです。

「地球環境」は、あらゆる命の暮らしの基盤で、SDGsの目的とする「持続可能な世界」は、人間と自然の共存の世界です。地球環境の保全と利用、消費と再生のバランスを保つことが大切とされています。未来へ向けて、人間も同じ生きものとして責任を持って自然と関わっていききたいですね。



### 科学する心を育てる ～ソニー教育財団の論文へ応募しました～

「感じる心、動き出すとき～映像とリアルと～」と題して、ソニー教育プログラムの科学する心を育てる論文に応募しました。子どもは、生活の中で起こる事象について、自分なりの仮説を立て試してみたいという欲求を持っています。幼児では言葉で表現しますが、乳児でも同じように思考が巡っているという実践の報告のまとめです。

素材との出会いやプロジェクター画像での遊び、リアルな自然現象（雨）を感じながらアート活動へつなげた実践と考察です。雨をみつめ思いにふける2歳さんの姿から、描き始める前から何かを感じとり表現しているのかなと思える「穏やかな時間の流れ」について論じています。本物の自然事象にしか作れない、時間を紡ぐことの豊かさを感じさせてくれます。

### ECEQ（公開保育）を実施しました

この夏、ECEQを受審し、区内の幼稚園など幼児教育の関係者の方々が来園し公開保育でアルテからの問いに答えて下さいました。保育環境の設定や玩具、保育者の関わり等についてです。STEPを踏んで、職員の同僚性も高められました。子どもたちの学びがより深められるよう改善しながら、さらにステップアップしていきます。



### 第三者評価の結果が報告されます

今月、第三者評価の結果がフィードバックされ、数か月後にインターネット「とうきょう福祉ナビゲーション」で公表されます。アンケートの回収率は78.8%と高い水準でした。ご協力下さり誠にありがとうございました。総合的な感想で満足が94.9%と、園への信頼が高いことが伺えました。どの項目でも高い満足度である一方、延長保育の利用しやすさなどサービスについての要望もあり、改善に向けて考えていきたいと思っています。

第三者評価やECEQの結果を受けて、こども園化へ向けても保育・教育の充実を図っていきます。

## 【ほろ苦い経験】

4歳ナノ組のAさんが大声で泣いています。その様子をBくんが困った顔で眺めています。青虫の飼育ケースを開けてBくんが観察していたところに、Aさんが来て、青虫に触れました。人間の手が触れるとアゲハ蝶になった時に羽が開かないことがあります。今年は、何匹かの蝶の羽が開かなかったことをBくんは観察して知っていました。だからAさんが触ったことを注意し、ケースを閉めました。触ってみたいと思って手を伸ばしたAさんは、注意されたことや自分のせいで羽が開かないかもしれないという後悔から涙が止まりません。Bくんにとってみれば、アゲハ蝶の命を大切に思う気持ちから注意したのに、そんなに泣かれても困るなという気持ちでした。



ナノ組の変身コーナーに大人の靴が置かれました。子ども用ではなく“本物”の大人の靴を履いてみたいという気持ちからパンプスは大人気です。履いて自分の足を見つめ満足する子、歩き回ってみる子、誰かに見てもらい子など、子どもの様子もいろいろです。毎日のようにパンプスを履いて遊ぶCさんは、初めて履いた日に足が痛くなったと言います。「あの時はね、中で指をグーパーしちゃったからの。それにね、こっちの靴にしたらもう痛くないってわかったの」

『かんなんなんじを玉にす』ということわざがあります。人間は苦労・困難を乗り越えることによって立派な人物になるという意味です。あえて厳しい苦難を与える必要はありませんが、小さな困ったを子どもの時期に乗り越える経験は、いずれ長い人生の中で訪れるであろう大きな困難を乗り越える力となってほしいと考え、見守ることがあります。

主任：黒木



※今月の表紙の写真は古屋敷先生が撮ったナイスショットです。エントランスに展示してあった5歳児が育てたトマト。枝からトマトを採ることが楽しかったようで、この笑顔です。この後、展示してあったガラスの中で、綺麗に洗って遊んだそうです。

# Atoo



Aさんは最近、同じクラスの友達に興味津々です。友達に近付いてほっぺたをつんつんと触ってみたり、着ている洋服の柄を確かめたり。時にはグーッと友達を抱きしめて、友達への気持ちを表現する場面もあります。ある日ままごとで遊んでいたAさんは、ままごとのフォークを手にとるとサッとBくんに近付きました。すると、Bくん“あーん”とフォークでご飯を食べさせる真似をして遊び始めました。Bくんは不思議そうな表情をしていましたが、笑顔のAさんをじっと見つめているうちに、一緒にニコニコ。その後も何度かやりとりを繰り返していました。

友達への興味が少しずつ芽生え、友達同士で顔を見合わせて笑い合う場面も見られるようになってきました。

初めて氷遊びをした時のこと。タライの中に入っている氷に手を伸ばして遊ぶ子ども達。その中で、CさんとDくんは目を丸くしながら不思議そうにじっと様子を見つめていました。保育者が目の前で氷を触り始めると、それを見ていたCくんは少し考えたあとに“僕も触ってみようかな”と保育者が持っている氷に手を伸ばしました。すると、保育者とCくんのやり取りをしばらく見つめていたDくんも興味を示して、Cくんが持っている氷と一緒に触り始めました。二人で同じ氷を触って遊んでいるうちにだんだんと氷遊びの面白さに気付いたようで、タライの中にある他の氷にも自ら手を伸ばして遊び始めました。

保育者からCくんへ、CくんからDくんへ。何気ないやり取りから、子ども達の興味がどんどん周りの友達へと広がっていくのです。



人との関り、モノとの関り。子ども達の“かかわり”の世界が大きく広がってきました。

様々な経験を通して“かかわり”の楽しさを味わっていききたいですね。



# Ato1



子どもの“やりたい”気持ちを尊重して

身体を動かす欲求が高まってきた1歳アト組さん。この日はミニサーキットの一角にトンネルを作ってみました。“くぐるかな？”と様子を見てみると、AさんとTさんはトンネルの中に座って、フラフープをつかみ乗り物に乗っているようです。それを見た他の子もトンネルの中に入ると、左右に揺れることに気づき、「きゃは〜！」とみんなで大喜び！そこからトンネルが揺れる船に変身し、みんなで船を揺らして楽しみました。「お〜ふね〜が、ぎっちりこ！」「う〜みはひろいな〜」と歌いながら何度も沈没しかけるほど激しく遊んでいました。今後も子どもの自由な発想や欲求になるべく寄り添っていき関わっていきます。



“おんなじ” 描いてみようかな

大きな模造紙にみんなで描画をしました。クレヨンは何色も試して色を確認する子、紙に寝そべりクレヨンの目線で描く子、つなげた丸をいくつも描く子と様々です。そのときTさんが「たまご！」と言って丸を何個か描きました。何かを想像して描くことができるようになり驚いたのですが、次の瞬間Aさんが「見て、たまご描いた。」と言って隣に丸を描いていました。友達が想像したことを共有して、真似した場面に出会い、子どもたちなりに友達と関わり刺激し合って過ごしていることを感じました。自分を表現したり、相手とぶつかったり、寄り添ったりすることを大切に見守っていきたいです。



# PICO2



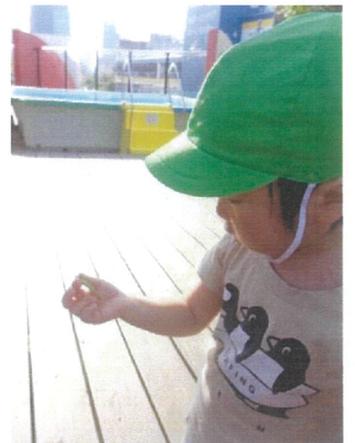
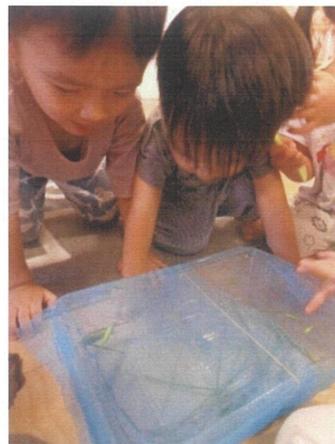
ぼくらはみんな生きている

虫や植物など生きものへの興味がますます高まっている子ども達。散歩先の公園でも何かを見つけるたび、目を輝かせながら友だちや保育者に知らせてくれます。それがミミズだろうとカメムシだろうと、子ども達は先入観なく近づき、息を詰めてじっと見つめます。拾い上げてみんなに見せて回ったり、飛んで行ってしまうと「カメムシさん、ありがとう」と手を振ったりするのも今ならではの姿でしょう。「触ると臭いにおいを出すから気をつけて」と伝えましたが、これから体験していく彼らには余計なお世話だったかもしれません。



真夏の公園は緑が豊かに茂っていて、子ども達の手が届くところにセミの抜け殻がついていました。保育者が採って見せると、Oさんは茂みに分け入り、葉っぱについた抜け殻を見つけると壊れないようにそっとつまんで手のひらに載せました。あたりを見回すとあちこちに抜け殻があることに気付いたようです。保育者がビニール袋を渡すと次々に採っては集めるのを楽しみました。満足そうな表情で「ママに見せる」と言って散歩の帰り道も大事そうに宝物の入った袋をにぎりしめていました。

新潟で暮らす元職員から大きなバッタが送られてきました。バッタと対面した子ども達。虫かごを取り囲むと網を指やままとのすプーンでつつき、バッタが動いたり跳ねたりする様子に釘付けです。動きを真似してとび跳ねたり、バッタとの出会いを「はじめてだー」と声に出して表したりと様々な反応が見られました。その後、屋上園庭に逃がしてあげることになり、子ども達が両手で包んだり指でつまんだりして園庭に放ちました。バッタがつぶれないように指で微調整できるほど先手が使えることにも驚かされましたが、その命を慈しむかのように優しく触れていることに成長を感じて嬉しくなりました。



これからの季節も様々な『初めて』と出会うことでしょう。自然と触れ合う機会をたくさん作り、一緒に楽しんでいけたらと思います。

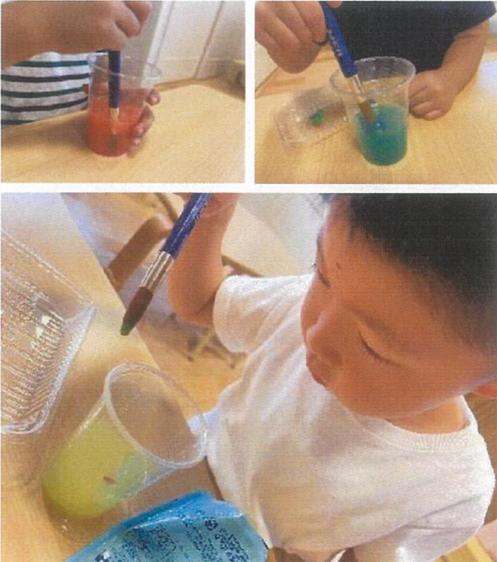


# NAW03



## 色の変化との関わり

オリジナルの『ジュース作り』をしました。  
一つ目は、絵の具を使いながら色の変化を感じるという部分に着目して作ります。初めにどんなジュースを作るか聞いてみると、それぞれ好きなジュースを教えてくださいました。そして、そのジュースに近づけようと、数ある色を少しずつ足していき……Aくんは『ももジュース』、Hくんは『みどりのブルーベリージュース』、Kくんは『ミックスジュース』が完成しました！この夏は絵の具の他にも泡や氷などを使ってジュース作りを楽しむ姿がたくさん見られました。



## すり鉢を使って

### 『花』や『野菜』との新しい関わり

そして二つ目は、『花』と『野菜』から色を絞り出して作ることにしました。まずは屋上園庭で採ってきた花をすり鉢で擦り合わせていき、そこに水を足してかき混ぜます。その水をカップに戻すと…「わー！色が付いた！」と子ども達の大きな反応が見られました。「この花はピンクになるかな？」とピンクの花びらを持ったHくんが言ったり、白っぽい花びらを擦っていくと茶色になったことに驚いたりしていて、様々な想像する力や発見がありました！



畑のトマトも擦ってみました。Hくんが「みどり～」と言いながら選び、次にKくんが白を選び、順番で擦っていきます。Hくんは緑とオレンジのトマトを混ぜてみる姿も見られ、「みて！カラフルだよ！」と見せてくれました。Kくんが白いトマトを手に持ち、擦ってみると…「小さいから固いな～」と呟きました。それを聞いたHくんは「どうして小さいやつは固いのかな？」と疑問を抱きます。そして今度は「どうしてあの形（細長い）なんだろう？カブトムシが生まれた時、あの形になったんじゃない？」と言っていました。子ども達の“どうして？”がこれから、様々な発見に繋がっていくのだと思うと、ワクワクしてくる、そんな場面でした。



# Nano4



## ★プール楽しかったね★

2ヶ月に渡り、水あそびやプールを楽しんだ子ども達。プールが始まると「今日は何するの〜?」と、ワクワクしていました。みんなでプールの中をグルグル回って流れるプールを作る所から始まり、友だちどうして関わられる内容(2組になりジャンケンをして、勝ったら両足トンネル、負けたらぐる)など、沢山たのしみました。

顔を水面につけられるようになった子は、「先生、見て見て!」「ぼくも!」「わたしも!」と、得意げに披露してくれました。反対に苦手な子は、その様子を見て自分もトライしてみようと負けじと顔を水面につけようとしばらく向き合って緊張した様子です…

しかし心の準備が来ると、一瞬ですが水に顔をつける事が出来て誇らしげ! 苦手な事でも、友だちのふとした行動で自分もやってみよう! と思えたり、いつも以上のパワーが発揮できる力を与える周りの関わりに驚かされました!

## ☆ある日のおやつが出来事☆

その日のおやつは、袋に入ったクッキーでした。3歳クラスのMくんが一生懸命に力を入れて、自分で袋を空けようとしていましたが、なかなか思うよういきません…。その様子を見ていた4歳クラスのYくん! 突然他のテーブルからM君の所へ近づいて行きました(保育士は、何も声は掛けていません) ちょっぴり恥ずかしそうにしているY君でしたが、Mくんの持っている袋を代わりに空けて、助けてあげていました。袋を空け終わるとまた自分の席に戻っていきました。M君も、袋を空けてもらった事で、嬉しかったのか安心して食べ始めていました。Y君の何も言われなくても自ら行動した事や友だちの困っている様子に気付いた事! に、凄く嬉しくなり成長を感じました。優しい姿を目にし、感動した瞬間でした!

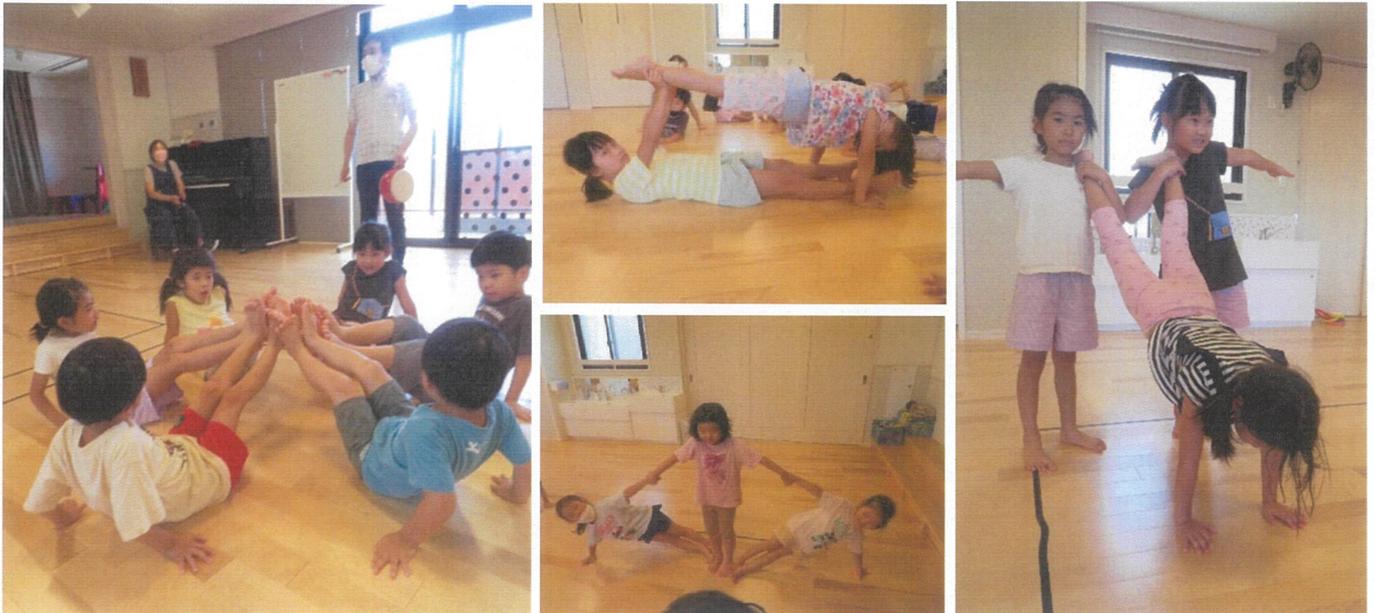


# Nanos



～どこでもいい だれでもいい～

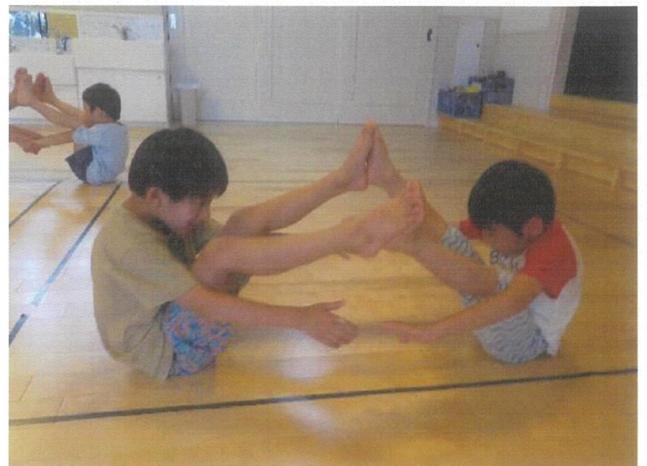
組体操あそびが始まり、会長よっぴーが繰り返している“どこでもいい だれでもいい”を合言葉に日々行っています。私たちの法人の組体操は『練習中も、当日も、誰と組むか相手も役割も固定して決めない』『その場で子どもたち自身が判断して、形を作る経験を重ねる』を大切にしています。クラスの人数上、ぴったり2人組、3人組等できないことがあります。とある日、3人組を作る際、Aちゃんが入れずその場に立ちすくんでいました。目には涙を浮かべ、辺りを見回していました。すぐその姿に気付いたBくん「こっちおいでよ！」Aちゃんの顔に笑顔が戻り、すぐにBくんの隣に座ります。そんなBくんも前々からこのような言葉を自然に出せるタイプではありませんでした。Bくんも2人組、3人組に入れなかった経験があるのです。その時の戸惑いや、不安な気持ちを味わっているからこそ、Aちゃんの気持ちを察して、いち早く声をかけてあげられたのでしょう。



嬉しい経験だけではなく、様々な経験から相手を思いやる気持ちが育まれ、さらに優しさを配れるBくんの姿に大きな成長を感じました。

その優しさはクラスの中で連鎖し、組体操あそびの時間だけではなく、普段の生活でも広がっています。

組体操あそびはまだまだ始まったばかりですが、“どこでもいい だれでもいい”の魔法の言葉を胸に、日々楽しんでいきたいと思います。



重要なのは、疑問を持ち続けること。知的好奇心は、それ自体に存在意義があるものだ。

(アルベルト・アインシュタイン 理論物理学者 1879~1955)

# Atelier



「今日も 実験しようよ〜」

何度か繰り返し試すうちに、何か分かったようです。

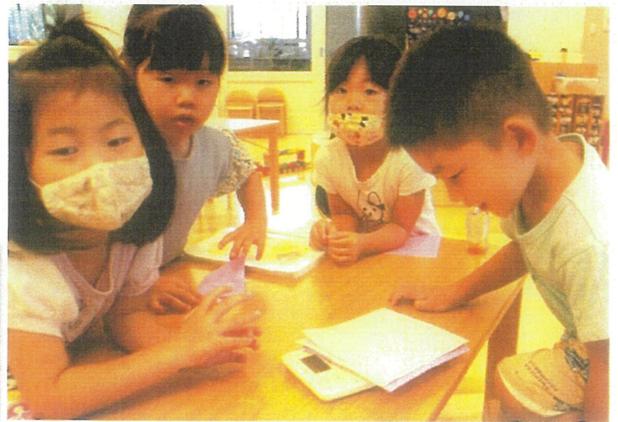
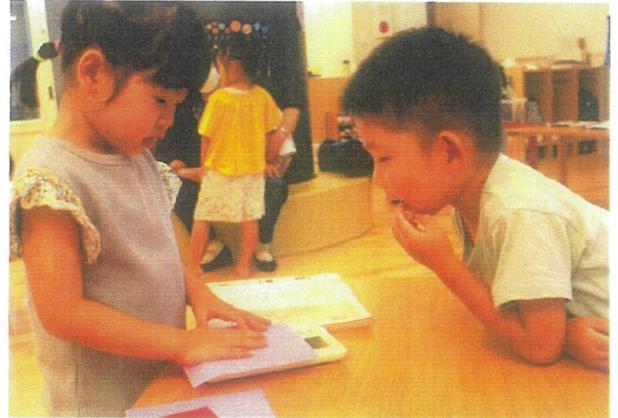
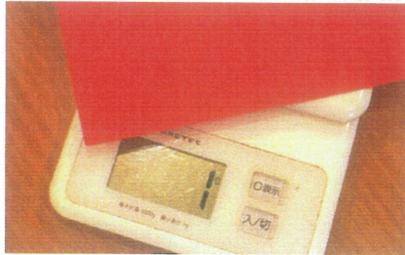
「見てて、これ1だよ」赤を乗せると数字は1と出ます。続いてもう1枚の赤も1、そしてピンクも1です。

「へえ、折り紙はどれも1なんだねえ」と私も素直に驚きます。

「何してるの？」4歳の二人もやって来てはかりを覗き込みます。

そしてまさに、それは、その時、起こったのです。こども達は折り紙1枚の重さが1と分かった上で、はかりの上に1枚ずつ乗せていきました。

1枚乗せると1、さらにその上にもう1枚を重ねて2枚では2。とすると、もう1枚乗せて3枚にすると当然…



「4…エ？」数字を見て子ども達はビックリ。

「1と1と1で、3のはずなのに??？」

この謎に大騒ぎをしていると「どうしたの？」と5歳の二人もやって来ました。3枚のうち1枚が大きいのではないかと仮説を立て「メジャーをお家からもってくればいいんじゃない？」と言いながら折り紙を重ねて大きさを比べてみたり、

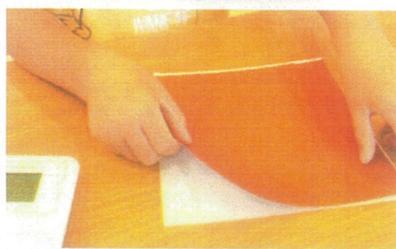
「折り紙がちょっとズれてるからじゃない？」と丁寧に重ねてはかりに乗せてみたりしますがなかなか謎は解けません。

「折り紙がこの(棚)中でちょっと太たんじゃない？」という意見も。そこで3枚のうち2枚の重さを、組合せを変え

ながら量ってみます。するとその中のひとつの組合せだけが…「見て見て2枚で3!!今までなかった!」

しかしその2枚を1枚ずつ量ると、やはりどちらも1。「あれ〜?それじゃあ順番変えるとどうかなあ?」

謎は深まるばかり。あの日以来、子ども達は思い出すと「実験しようよ〜」とやって来ます。(文責:一然)





# (まけんだよ！)

## ～上手に手洗いしてみよう～

先日全園児に手洗い指導を実施しました。幼児さんは紙芝居を読みながら、正しい手洗いの方法を練習しました。紙芝居が終わると、子どもたちはいつもより入念に手洗いをして、手洗いが終わると手のひらを見せながら「何匹バイ菌がいる？」と尋ねてきました。「すごい！0匹だよ！」と伝えるとみんな嬉しそうにしていました。



2歳・1歳さんはキラキラ星に合わせて手洗いの練習をしました。先生の動きを見ながらみんな上手に真似をしていました。歌が終わると「もう一回！」とリクエストしていました。

0歳さんも興味津々に絵本に近づいてきて、指をさしたり声を出したりしながら見ていました。



## ～運動会に向けて～

いよいよ運動会の練習が始まります。

サイズの合わない靴を履いていると、指先やつめにトラブルが起きやすくなります。運動会は裸足で行うため足のトラブルがあると怪我の悪化につながります。本番を怪我なく迎えられるように、一度ご家庭で靴のサイズを確認してみてください。

### ☆靴選びのポイント

○つま先は5mm程ゆとりがあるものを選びましょう。

○足の動きにフィットする柔らかさと、地面からの衝撃を和らげるクッション性があるものがよいです。

○つま先は広くて厚みがあるものがよく、指を自由に動かせる余裕があることが大切です。

○足に合わせて甲の高さを調節できる、ワンタッチテープのものがおすすめです。

# 9月のよてい

発育測定 9月 7日(水)

0歳児健診 9月 1日(木)

9月 14日(水)

# Lunch & Snack time

## 食育だより

秋の実りをいただいて、残暑を乗り越えましょう！

夏野菜の収穫もひと段落。秋が近づいてくるのを感じます。子ども達は夏の疲れが出てくるころです。栄養たっぷりの秋の実りをいただいて、厳しい残暑も元気に乗り越えましょう。



### 朝採れのなすのライブキッチン

今年一番の収穫量。5歳さんから朝採れのなすが届きました。せっかくなので子どもたちの目の前でなすを調理することに。熱したフライパンにごま油を入れると、園中に香ばしいにおいが広がります。縞模様皮を剥き、隠し包丁を入れたなすをさっと炒め、みりんと醤油を回しいれると、ジュワーという音とともに甘じょっぱいいい香り。子ども達の視線が一気になすに集まります。幼児クラス一人ひとりに「熱々だから、フーフーして食べてね。」と声を掛けながら出来立てをサービング。なすが好きな子は、「もっといっぱいちょうだい!」。「なすは嫌い」と絶対に口にしない子。苦手でも美味しい香りに引き寄せられて「ちょっとだけ食べてみる。」「う〜ん、、、おいしい!」食わず嫌いを克服した子。反応はそれぞれですが、「旬の食材を五感で味わう」食育活動となりました。

### 9月の行事食

9/9 (金) 十五夜

〔昼食〕お芋ご飯・秋鮭の塩焼き

ほうれん草のごま和え

里芋としめじのみそ汁・うさぎりんご

〔おやつ〕お月見ゼリー

9/29 (木) 誕生日会

〔昼食〕季節のおこわ(赤飯栗入り)・鱈の照り焼き

小松菜のごま和え・けんちん汁・柿

〔おやつ〕季節のケーキ

※おやつに、むらさき芋パンやレーズンパン、きな粉おはぎを予定しています。

### 「中秋の名月」

旧暦の8月15日の夜(十五夜)に見える月を「中秋の名月」と呼び、今年は9月10日(土)がその日に当たります。お月見としてススキや月見団子を供え、月を愛でる習慣は、平安時代に中国から伝わったと言われています。ご家庭でも、秋の実りを満喫しながら、日本の伝統行事を楽しんでみるのもいいですね。

5歳さんがお供え用のお月見団子を作る予定にしています。

※安全上の配慮から、お月見だんごは食べません。

### 秋の野菜

夏が終わると、実りの秋がやってきます。たわわに成熟した種実や果実が、豊かな季節の到来を告げます。木々に栗や柿が実り大地の中ではさといもや、さつまいもが実り、そして田には米が実ります。秋はご飯とおみそ汁で、澄んだ空気も楽しみながら、ほっくりとした実りをいただきたいですね。

～旬の野菜の栄養辞典より～

### 旬の食材

くり・きのこ・柿・なし・りんご・ぶどう・さつまいも・さといも・さけ・さば

